

カルジール小児用シロップ2%

<換算表> 投与量はシロップとしての量(mL)を示す

年齢 目安 (才)	体重 (kg)	1回投与量 (mL)	1日最高投与量 (mL)	年齢 目安 (才)	体重 (kg)	1回投与量 (mL)	1日最高投与量 (mL)
1ヶ月	4	2.00 ~ 3.00	12.00	6	20	10.00 ~ 15.00	60.00
	5	2.50 ~ 3.75	15.00		21	10.50 ~ 15.75	63.00
3ヶ月	6	3.00 ~ 4.50	18.00		22	11.00 ~ 16.50	66.00
	7	3.50 ~ 5.25	21.00	7	23	11.50 ~ 17.25	69.00
6ヶ月	8	4.00 ~ 6.00	24.00		24	12.00 ~ 18.00	72.00
	9	4.50 ~ 6.75	27.00		25	12.50 ~ 18.75	75.00
1	10	5.00 ~ 7.50	30.00	26	13.00 ~ 19.50	75.00	
	11	5.50 ~ 8.25	33.00	8	27	13.50 ~ 20.25	75.00
2	12	6.00 ~ 9.00	36.00		28	14.00 ~ 21.00	75.00
	13	6.50 ~ 9.75	39.00		29	14.50 ~ 21.75	75.00
3	14	7.00 ~ 10.50	42.00	9	30	15.00 ~ 22.50	75.00
	15	7.50 ~ 11.25	45.00		31	15.50 ~ 23.25	75.00
4	16	8.00 ~ 12.00	48.00		32	16.00 ~ 24.00	75.00
	17	8.50 ~ 12.75	51.00	33	16.50 ~ 24.75	75.00	
5	18	9.00 ~ 13.50	54.00	34	17.00 ~ 25.00	75.00	
	19	9.50 ~ 14.25	57.00	10	35	17.50 ~ 25.00	75.00

※成人用製剤(細粒剤:解熱・鎮痛における場合)の用法用量

通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300~500mgを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

ただし、原則として1日2回までとし、1日最大1500mgを限度とする。

また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

<成分分量> 1mL中:アセトアミノフェン 20mg

<性状> オレンジようのにおいがあり、味はわずかに甘い、うすだいたい色~だいたい色のシロップ剤

<効能効果> 小児科領域における解熱・鎮痛

<用法用量> 通常、乳児、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重1kgあたり1回10~15mgを経口投与する。

投与間隔は4~6時間以上とし、1日総量として60mg/kgを限度とする。

なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、成人の用量を超えない。

また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。